

陸前高田発

かさ上げ地に商業施設

津波から守るため約10メートルかさ上げされた大規模な造成地に複合商業施設「アバッセたかた」が陸前高田市にオープンしました。「アバッセ」とは気仙地方の方言で「一緒に行きましょう」という意味です。市民はさっそく真新しい店内で買い物を楽しみました。周辺にはさらに商店などが再建される予定で陸前高田は街の再生に向け、大きな一歩を踏み出しました。(4/27 ニュースエコー)



大船渡発

3つの商業施設オープン

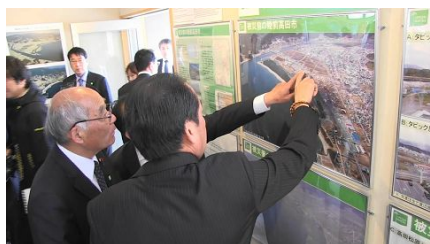
大船渡駅周辺のかさ上げされた土地におおふなと夢商店街とキャッセン・フードビレッジ、キャッセン・モール&パティオの3つの商業施設がオープンしました。3つの施設は津波で大きな被害を受けた大船渡駅周辺を3メートルほどかさ上げして建設されました。ここには仮設店舗で営業を続けてきた飲食店や物販店など合わせて47店舗が入居しています。(4/29 ニュース)



陸前高田発

吉野復興大臣が岩手へ

吉野正芳復興大臣が就任後初めて陸前高田市を訪れ、戸羽太市長らから4月27日にかさ上げ地に複合商業施設がオープンしたことなど中心部の復興について説明を受けました。また、市側から被災した土地の活用に向けた新たな仕組み作りなどを求める要望書が提出され、吉野大臣は「きちんと受けとめて対応していくと応えていました。(5/2 ニュースエコー)



大船渡発

高台の住宅地が完成

大船渡市末崎町碁石地区の高台に「りあすの丘」と名付けられた新たな住宅地が完成しました。津波による被災で移り住む人たちが住民主体のまちづくりを目指します。「りあすの丘」は50メートルほどの高台に、一戸建ての災害公営住宅6軒と防災集団移転で再建した17軒が建設され約80人が暮らします。(5/5 ニュースエコー)



宮古発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

みやこハーバーラジオの久保田祥子さんが、大型連休中に開催される『第38回浄土ヶ浜まつり』について伝えてくれました。3日は『浄土ヶ浜お楽しみ海鮮バーベキュー大会』と『シーカヤック体験試乗会』が行われたほか、4日は浄土ヶ浜芸能祭と宮古市出身の歌手・小田代直子さんによる歌謡ショーが、6日は『浄土ヶ浜 JAM 海のアコースティックフェス2017』、7日は『ホタテ釣り体験』など催しが続きます。また新緑の季節を迎えた浄土ヶ浜の美しい景色も見どころだという事です。(5/3)

陸前高田発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

陸前高田災害FMの菅野陽子さんが、4月30日から5月5日に行われた『黒崎仙境温泉 ゴールデンウィーク感謝祭』について伝えてくれました。ここは陸前高田市広田町にある日帰り温泉施設です。今回は日頃の感謝を込めて先着100名へ鉢花をプレゼントしたり、食堂でソフトや鯖出汁ラーメン等が割引されたりした他、屋外では焼きホタテや焼きとうもろこしが販売されたという事です。こうしたイベントは年数回、節目ごとに企画されていて、菅野さんは「何ととっても海の眺めが最高です。6月からはウニ井まつりも開かれますので、ぜひのんびりしにいらして下さい。」と話していました。(5/10)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
 詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
 IBC復興支援室事務局 019-623-3122